

横浜市立新鶴見小学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「しんじる つながる みちをひらく 新・鶴・見！」	＜他者理解・自己理解＞ ＜地域を愛する気持ち＞ ＜主体性＞ ＜あきらめない心＞

(2) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
○教育目標の実現に向けて、自分を信じ、仲間と地域とつながり、未知なる道を自分たちの力で切り拓く子どもの育成を目指します。 ・学習の楽しさを実感できる授業作りを推進し、子どもの思いや考えを大切にしながら授業を進めます。 ・誰もが安心して楽しく学校生活が送れるよう、一人ひとりを見取り寄り添います。 ・地域の人たちとのつながりを意識し、豊かな体験を通して地域を愛する心を育てます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①体育部を中心に作成したカリキュラムを参考にし、学年間での連携を図りながら授業に取り組んでいく。 ②養護教諭や学校医と担任が連携しながら、保健学習の充実を図ったり、栄養教諭と担任が連携して食育教育を実施し、食に対する意識をさらに高めたりする。
担当	教育活動部

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態（生活意識調査・学習状況調査・体育科基本調査分析）

《H31年度生活意識調査、学習状況調査より》

- ・1日に30分以上運動をする児童が学校としては増加傾向にあった。
- ・朝食の有無や睡眠時間については市平均と同程度であり、どの家庭でも適切な生活習慣への意識がある。
- ・地域に外遊びができる空間は十分あるが、週に3日以上運動をしている児童と運動をしないと回答している児童の二極化が見られる。

《R2年度体育科基本調査より》

- ・「体育が楽しいと感じるとき」については、市全体の傾向と同様に「できなかった技や動きができるようになったとき」が多くを占めている。「もっと体育が楽しくなるために」については、「体育の時間内にたくさん練習する」や「視聴覚機器で自分の動きを確かめながら学習する」が市平均よりも少ない。

(2) 体力の概要と要因の分析（小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用）

H31年新体力テストの結果は、長座体前屈のみ市の平均を上回っていた。その他の種目では、市の平均を下回ることが数年続いていた。また、コロナ感染症の影響により運動や外遊びの機会に制限がかかり、体力はさらに落ちていると予想される。

本校児童は、運動することや体育学習は好きだが取り組み方が理解できておらず、運動機会や経験を積むことができていない。これにより多様な運動の経験が少なくなっていることに加え、粘り強く取り組み続けることに課題があると考えられる。このため、体育学習や学校行事などを通し安定して運動の経験を積んだり視聴覚機器の活用を通し良い動きにつなげる機会を増やしたりすることで、意欲を高め自ら運動に取り組めるようにすることが大切だと考える。

教科

《体育科での取組》

児童が課題をもち主体的に運動に取り組む姿を養う

- ・体育科では、児童が運動の楽しさや特性を理解し常に意識しながら取り組めるように、教師一人ひとりが指導していく。学習の効率化を図り学年間で共通意識をもって取り組めるよう、カリキュラムの見直しや教材の工夫を行っていく。
- ・体力テストの結果を基に、体づくり運動を中心として児童が自分の体力と向き合いながら取り組めるような授業づくりを行っていく。

《他教科での取組》

心身の健康な生活を実践する態度を育む

- ・児童が自らの生活や考えを見つめ、前向きに過ごそうとする心の育成を目指した道徳の授業づくりを行う。

教科外

《委員会活動》

- ・運動委員会を中心にして、運動に関わる集会活動を企画運営することで、全校児童が楽しく運動に取り組んだり運動の大切さを実感できたりするようにしている。
- ・保健委員会を中心にして、児童の健康面・安全面の課題について、掲示物や校内放送を通して周知している。具体的には、欠席人数調査・新型コロナウイルス感染症予防の啓発などがある。

《食育タイム》

- ・1か月に1回、朝の時間に食育タイムを設定し、食育指導に全校で取り組んでいる。バランスイナカードを活用し、毎月、摂取している給食の献立や日頃の食事メニューなどについて振り返り、健康と食事の関わりや食事のマナーについて興味をもてるようにしている。

《運動会》

- ・子どもの運動への意欲や自己有用感が高まる運動会づくりに向け、教師がねらいを明確にもって計画的に進める。

課外活動

- ・~~昼食後の歯磨き活動を奨励する。(歯磨き週間の設定)~~
- ・個人面談等を利用して体力や健康状態の状況を保護者と共有。必要があれば、病院への受診を促す。

令和3年度 新鶴見小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 コロナに負けず、みんなでヘルスプロモーション!! 2021 INしん つる み!!

《ねらい》 児童自ら健康課題に気付き運動習慣や生活改善をねらった取り組みを行うことで、健康的な生活習慣に向けた意識を向上させる。

《内容》 運動委員会が中心となって運動集会を企画・運営し、児童が運動の楽しさを味わい体力向上を図る。ペア学年での見合いや教え合いを行っていくことで、高学年の意欲向上につなげる。(長縄大会やドッジボール大会、短なわ検定など)

保健委員会が中心となって、日々の健康や安全に対する課題に目を向けたり、学校保健委員会の話し合いの中心になったりすることで、児童の健康や安全に対する意識の向上につなげていく。(欠席のお知らせや保健集会など)

- 指 標：
- ①生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」からの検証
 - ②市学力・学習状況調査と子どもの活動の状況との分析
 - ③体育科基本調査の分析